学校番号	1302

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学総合演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「新　高校の数学Ⅰ」数研出版株式会社						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校までの内容の総復習、とくに「数学Ⅰ」の理解を深めることを通して、社会生活で必要な基礎計算能力、論理的思考力・表現力、物事を数学的に捉える理解力を身につけていきます。１，２年生の数学と同様、基礎から丁寧に説明していきますので、しっかりと授業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・基礎的な四則計算、負の数の概念と計算法則を身につける。
・数と式、二次関数、図形と計量およびデータの分析について基本的な考え方を理解し、数学的に処理できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・数と式、二次関数、図形と計量およびデータの分析について論理的に思考・判断し、数学的に表現できるようにする。
・社会生活とつながる種々の課題に対して数学的な考察ができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・課題に粘り強く取り組み、数学的に解決しようとする姿勢、身につけた数学的知識や思考力等を日常の生活に活用しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な四則計算、負の数の概念と計算法則を身につけている。 ・数と式、二次関数、図形と計量およびデータの分析について基本的な考え方を理解し、数学的に処理できる。	・数と式、二次関数、図形と計量およびデータの分析について論理的に思考・判断し、数学的に表現できる。 ・社会生活とつながる種々の課題に対して数学的に考察している。	・課題に粘り強く取り組み、数学的に解決しようとしている。身につけた数学的知識や思考力等を日常の生活に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	数の計算 負の数の計算 文字式 式の展開 展開の公式	a:基礎的な四則計算ができる。文字式の概念や性質を理解し、計算できる。 b:数学的知識を活用し、自分なりの解答を数学的に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	方程式・不等式	1次方程式 1次不等式	a:方程式・不等式の概念や性質を理解し、計算できる。 b:数学的知識を活用し、自分なりの解答を数学的に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
2学期	2次関数	関数 ２次関数 グラフと方程式・不等式	a:関数の概念や性質、方程式・不等式との関連性を理解し、計算できる。 b:数学的知識を活用し、自分なりの解答を数学的に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	図形と計量	直角三角形と三角比 三角比の相互関係 鈍角の三角比 正弦定理と余弦定理 三角形の面積	a:三角比の概念や性質を理解し、計算できる。 b:数学的知識を活用し、自分なりの解答を数学的に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
3学期	データの分析	データの分布とグラフ 分散と標準偏差 散布図と相関係数	a:データの分析に関する数学的概念や性質を理解し、計算できる。 b:数学的知識を活用し、自分なりの解答を数学的に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度